

手塚たかひろ

市民・自治・平和

議会報告

No. 21

2015年3月5日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072-849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.info/>

税金の無駄使いを許しません！

政務活動費を受け取らず
議員報酬の半分を
法務局に供託
4年間で2千万円の節約！



手塚たかひろの取り組み



—手塚たかひろのプロフィール—

- ▶1947年佐賀県唐津市で生まれる
- ▶福岡県立小倉高校・京都大学経済学部卒業
- ▶京都市役所勤務(34年間)
うち21年間生活保護ケースワーカー
- ▶現在 枚方市議会議員(2011年初当選)
- ▶宮之下町在住
- ▶家族は 妻 母 一男一女
- ▶趣味 バードウォッチング

- ★市民無視・将来への負債 美術館建設の見直し！
- ★ガチンコで議論し、市民への責任を果たす議会に！
- ★政務活動費は不要、報酬の半分を供託！
- ★生涯学習市民センターと図書館への
指定管理者制度導入の撤回を！
- ★中学校卒業までの医療費の無料化実現を！
- ★原発廃止、再稼働反対！
- ★憲法改悪反対！集团的自衛権行使容認 NO！

市民無視・将来へ負債を残す 美術館建設の白紙撤回・市民参加で見直しを！



私は一貫して、「市民を無視し、地域の緑を壊し、将来に負債を残す現在の美術館建設」

に反対してきました。できる限り現地に足を運んで、地元の方々の思いを受け止めて発言し続けています。

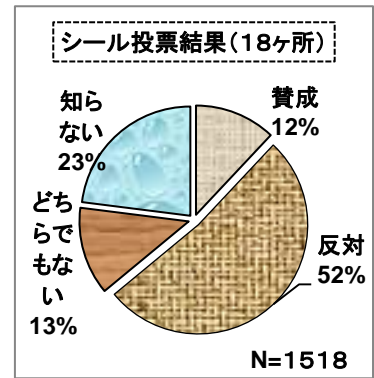
* 市民の声が反映されず、寄附者個人の趣味を市民に押し付ける理念のない美術館建設計画。地域の緑を破壊し、維持管理には毎年6000万円(市による最近の試算)の税金の持ち出しが必要。将来にわたって数十億円、市民の負債になります。

* 問題点を指摘しながらも賛成する議員、本音は「反対だ」と言いながら「会派が…」と

市民には理解できない態度の議員、行政の問題点を厳しくチェックしない議会。美術館問題は議会改革の課題を明らかにしました。

白紙撤回を求める署名はすでに16000筆超。賛否を問うシール投票でも反対は52%を超え、賛成の12%をはるかに上回っています。反対する市民は一部少数派との市の言い分には、根拠がありません。

* 計画を強行するのではなく、「どの場所にどのような美術館を作るのか財源はどうするのか」、市民参加の検討委員会を設置して、慎重に検討することが必要です。



馴れ合いではなく ガチンコで議論し 市民への責任を果たす議会

昨年の4月から、議会に請願した市民が常任委員会で議員に直接意見を言うことができ、傍聴もできるようになりました。傍聴者が増えることで議員の緊張感も増加。大きな前進です。

請願の数も大幅に増えました。昨年の4月から12月まで7本の請願が出され、うち5本の請願を紹介しました。

* しかしこれだけでは不十分です。請願では意見陳述と議員からの質問に答えるだけでなく、議員と行政のやり取りにも意見



を言えることが必要です。

さらに、重要案件は事前に市民に知らせて意見を述べる機会を設けることで、市民の声を議会に直接反映させることができます。(米国ではこのような運営が行われています)。

* 市民参加を進め、馴れ合いの議会ではなく、ガチンコで議論する議会を目指します。

* 議員一人ひとりが市民に責任を持ち、議員の態度を市民に明らかにします。

政務活動費の 受け取りを拒否し 報酬の半分を 供託しています

1円の政務活動費も受け取っていません。政務活動費はいりません。市民は本や新聞の購入費用は自費です。議員は税金(政務活動費)で購入できます。議員報酬の上乗せです。

* 政務活動費は廃止すべきです。枚方市議会議員の政務活動費は年間84万円(月7万円)、4年間で336万円になります。

* 議員は市民の代理人～市民平均(年間400万円代)からかけ離れた報酬はいりません。議員報酬は昨年1年間で1083万円。手取り額の約半分を法務局に供託しています。供託額は4年間で約1600万円になります。

議員報酬を年500万円減らすと1年間で34人分1億7000万円。年間約2億円の税金が浮きます。この税金を待機児童解消、特養増設、国保料・介護保険料減免の拡充に活用できます。



香里ヶ丘中央公園に



生涯学習市民センター図書館への 指定管理者制度導入を撤回！ 市民参加であり方検討会議の設置を求めます

生涯学習市民センターと図書館が併設された6館(樟葉・牧野・津田・菅原・御殿山・サダ)の管理運営を指定管理者に任せることに反対し、市民とともに再検討することを発言し続けています。市は上記6館の管理運営において(最初は牧野・サダの2館)、市の直営をやめて民間を含む外部の団体・会社にまかすことを進めています。↗

↗生涯学習市民センターにも図書館にも常駐の市職員がいなくなります。市が開催した市民聴取会ではほとんどの意見が、導入に反対でした。

* 拙速にことを進めるのではなく、指定管理者制度の導入の是非も含めた生涯学習市民センターと図書館のあり方を、市民参加の検討会を設置し再検討すべきです。

子どもたちが 生き生きと育つ町に

中学校給食の体制と施設の充実を求め、子どもによりそった教育を充実させるため、先生の増員を訴えてきました。

- * 中学校給食は、生徒の半分しか提供できない選択制ではなく、生徒全員に提供できる体制を目指します。
- * 小学校卒業まで少人数学級(35人)を拡充します。
- * 誰もが安心して学べるために、大学生まで無償の奨学金制度を拡充します。
- * 子供が安心して医療を受けられるよう、中学校卒業まで医療費の無償化を進めます
- * 4月だけではなく、年度途中の待機児童解消を目指します(今年の1月末待機児童204人)。

必要な人に 必要な福祉 介護支援の充実を

誰もが安心して住める町に

世帯に寄り添った支援を求め、国の標準基準を大きく下回っているケースワーカーの増員を訴え続けてきました。

- * 特別養護老人ホームの増設を要求します(昨年9月末 枚方市民の待機者1013人)。
- * 高齢者介護・障がい者介護の人材確保のために雇用支援を行います。
- * 国民健康保険料、介護保険料の減免制度を拡充します。
- * 若者の定住確保のため、新婚世帯への家賃補助を創設します。



市民の命を守るため 原発廃止 再稼働反対

原発再稼働反対を、枚方市長と市議会が率先して国や関西電力へ声を上げるよう、発言し続けました。

学校給食食材の放射能検査、大気中の放射能測定を提案しましたが、枚方市は拒否しています。

市民の命を守る責任を持つ市長が、原発廃止の先頭に立ち、日ごろから放射能汚染があるのかわからないのか調査を続けることが必要です。

- * 学校給食食材の放射能検査、大気中の放射能測定、原発事故からの避難者支援の実現を市へ求め続けます。

憲法改悪に反対し、 市民が主人公の地 方自治を目指します

「安倍内閣の集団的自衛権行使容認」に対し、市長は国に対し反対をすることを求める請願を後押ししました。

- * 海外で自衛隊が軍事力を行使して戦争をし、「人を殺し、殺される国」に変える、安倍内閣の憲法改悪の動きに反対です。
- * 憲法9条、25条を活かした平和で豊かな枚方を目指します。
- * 市民が主人公、市民参加の町づくり、市民に開かれた枚方市・市議会を目指します。

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会 ニュース「平和がいちばん」をお読みください。

連絡先:市民の広場 ひこばえ 072-849-1545